

7 月 5 日（日）開催 第 4 回意見交換会（豊島小・中豊島小・四中）議事録について

開催日時：令和 8 年（2026 年）7 月 5 日 14 時～

開催場所：第四中学校 体育館（豊中市服部本町 4-5-7）

意見の概要と市の返答

No.	意見の概要	市の返答
1	学校を改築するにあたり、これまで小学校区で行われてきた地域活動（公民館活動、運動会・文化祭での使用、部活動等）の拠点機能を維持してほしいです。	豊中市は小学校区単位の地域活動が活発な自治体と認識しております。建て替えによって活動制約を望んでおらず、むしろ地域に密着したコミュニティ拠点となることを目指しております。児童生徒の安全確保は必要ですが、地域活動の縮小・廃止という考え方は持っていません。具体的な運用方法は今後のフェーズで検討してまいります。
2	仮設校舎案を採用する場合、仮設校舎の具体的な仕様（スペック）はどのようなものになりますか。	工事現場で一般的に使われる簡易な仮設建物とは異なり、軽量鉄骨（プレハブ）造であっても、より強度があり見た目にも配慮した仕様を想定しております。詳細は豊島公園リニューアル計画との調整を踏まえて固めていきます。

3	仮設校舎の候補地とされる豊島公園については、駅前まちづくりの一環で公園自体をリニューアルする計画（中央図書館構想等）が別途進行中と聞いています。両者の整合性はどうなっていますか。	豊島公園リニューアルにあたっては、曾根まちづくりワークショップで出た意見を踏まえ、プランニングしていくものと認識しております。仮設校舎を先行して建設した後に隣接して工事が始まると、児童生徒への影響（工事音等）が生じ本末転倒になるため、時期・仕様の両面でまちづくり計画と足並みを揃える必要があると考えております。仮にリニューアル施設に運動・音楽等に使えるスペースが確保される場合は、仮設校舎に含める機能を減らせる可能性もあり、両計画は相関関係を持つものと考えております。
4	豊島公園方面（6丁目・シティコート付近）は歩道が狭く、街路樹もあるうえ、阪急沿いの交差点は信号がなく交通量も多いです。児童生徒が大人数で通行する際の安全性が心配です。実際に現地を歩いて確認してほしいです。	四中校区・中豊島校区ともに同様の懸念箇所が学区内に複数あると認識しております。中豊島の通学路は現行の通学経路を前提に設計されており、仮設校舎案により通学経路が変わることで特定の時間帯・道路に児童生徒が集中する可能性がございます。交通影響・安全性の観点から、実際に現地検証したうえで対策を検討してまいります。
5	自治会加入率が約 50%程度であり、アンケート回収率も 5 割を切っています。近隣住民の意見をどのように幅広く収集していく予定ですか。	自治会加入率が低い実情は認識しており、自治会の協力を得つつも、それだけに依らない周知方法を検討しております。今後も、より効果的な周知・意見収集の方法を継続的に検討してまいります。
6	現在、校舎や敷地を活動拠点として音楽クラブ・野球部等の地域活動を行っています。仮設移行や校舎縮小により、こうした活動が真っ先に削られるのではないのでしょうか。最低限、現状の活動を継続できるようにしてほしいです。	学校が地域活動の場としての側面を持っていることは重々承知しております。建て替えにあたり物理的スペースの制約から一定の制約が生じる可能性はありますが、活動を一律に停止・廃止する考えはありません。
7	日頃、学校行事やクラブ活動、改築に関する疑問が生じた際にどこに問い合わせればよいか分かりにくいです。問い合わせ窓口を明確にしてほしいです。	問い合わせ窓口は学校施設管理課 企画推進係です。内容に応じて必要な部署につなぎます。窓口の存在をアンケートや案内資料等でより分かりやすく周知してまいります。

8	仮設校舎案に関する資料の記載内容は、過去の実例や他自治体での実績に基づくものか、それとも想定に基づくものか。資料作成の根拠を明確にしてほしいです。	本市において仮設校舎の利用実績はございませんが、他自治体においては活用事例がございます。資料は他自治体の実績を踏まえた想定を基に作成しております。
9	駅前まちづくり構想（豊島公園リニューアル等）がなかなか固まらない場合、仮設校舎利用案のスケジュールが大幅に遅れ、結果として単独建て替え案より完成が遅くなるのではないかと心配しています。	早期の建て替えを求める声が共通の思いであると認識しております。まちづくり構想と足並みを揃えるあまり、遅れるような事態は避けたいと考えております。
10	アンケートでは単独建て替えを支持する声も約半数あります。市（教育委員会）としては単独建て替え案を採用する方向なのでしょうか。	現時点で教育委員会としては、児童生徒への影響が最も少ないのは仮設校舎利用案であるとの考えに変わりはありません。単独建て替えを支持する方が懸念している事項を把握し、それに対する対応策を提示していきたいと考えております。